



ユーザーマニュアル



Rider 750 SE

目次

使用の手引き	4
Rider 750 SE の主要機能	4
Rider の再起動	4
付属品	4
タッチスクリーン	5
GUI ディスプレイ	6
クイックステータスマニュー	7
ステータスアイコン	9
ステップ 1: Rider 750 SE の充電	10
ステップ 2: Rider 750 SE の電源オン	10
ステップ 3: 最初の設定	10
ステップ 4: 衛星信号の受信	11
ステップ 5: Rider 750 SE とサイクリング	11
ステップ 6: 記録の共有	12
ファームウェア更新	14
コース	17
ルート	17
ルートガイダンス	19
復路を作成	19
クライムチャレンジ	21
ワークアウト	22
Bryton テスト	24
ライブトラック	26
スマートトレーナー	27
ナビゲーション	30
音声検索	30
場所を固定する	31
Bryton Active アプリでナビゲートする	31
走行を引き返す	32
マップのダウンロード	33
履歴	34
設定	35
自転車設定	35
ディスプレイ	37
センサーをペアリングする	38
システム	42
高度	44
仕様情報	44
プロファイル	45
Bryton アプリの詳細設定	46
通知	46
付録	47
仕様	47
Rider 750 SE のインストール	48
速度/ケイデンス センサーの取り付け(オプション)	49
タイヤサイズと周長	50
データフィールド	51
Rider 750 SE の基本のお手入れ	56



警告

トレーニングを開始する前は、必ず医師の診察を受けてください。パッケージの保証および安全情報ガイドを詳細までしっかりとお読みください。

ビデオチュートリアル

デバイスと Bryton Active アプリの詳細なデモンストレーションについては、以下の QR コードをスキャンして、Bryton チュートリアルビデオを確認してください。

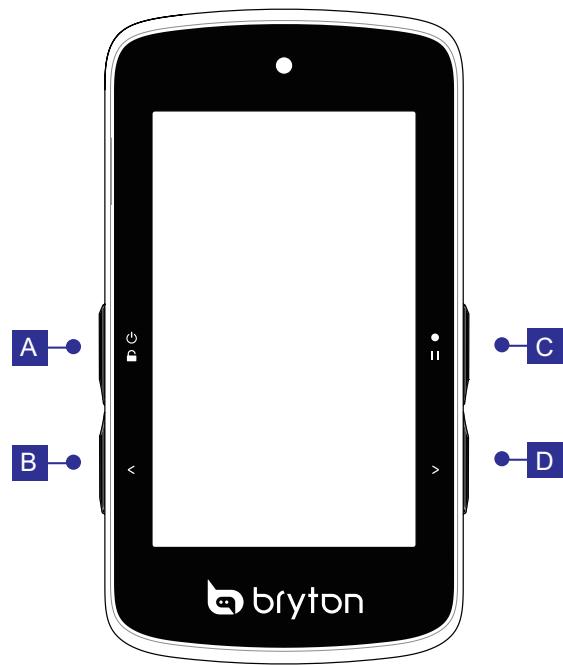


<http://www.youtube.com/c/BrytonActive>

使用の手引き

本セクションでは、Rider 750 SE を初めて使用するにあたって準備すべき基本事項について説明します。

Rider 750 SE の主要機能



A 電源/ロック (⌃)

- ・長押しすると、デバイスの電源が入ります。
- ・長押しすると、デバイスの電源が切れます。
- ・短く押して、画面をロックまたはロック解除します。

B ページダウン (<)

- ・メーター画面表示中に押すと、前のページに進みます。

C 記録/一時停止 (●||)

- ・このボタンを押すと記録を開始します。
- ・記録中、このボタンを押すと記録を一時停止します。その状態で、画面をタップすると、走行記録の保存／削除／再開を選択できます。

D ページアップ (>)

- ・メーター画面表示中に押すと、次のページに進みます。

デバイスの再起動

(⌃ / < / ●|| / >) を同時に押して、デバイスを再起動します。

付属品

Rider 750 SE には、次の付属品が同梱されています。

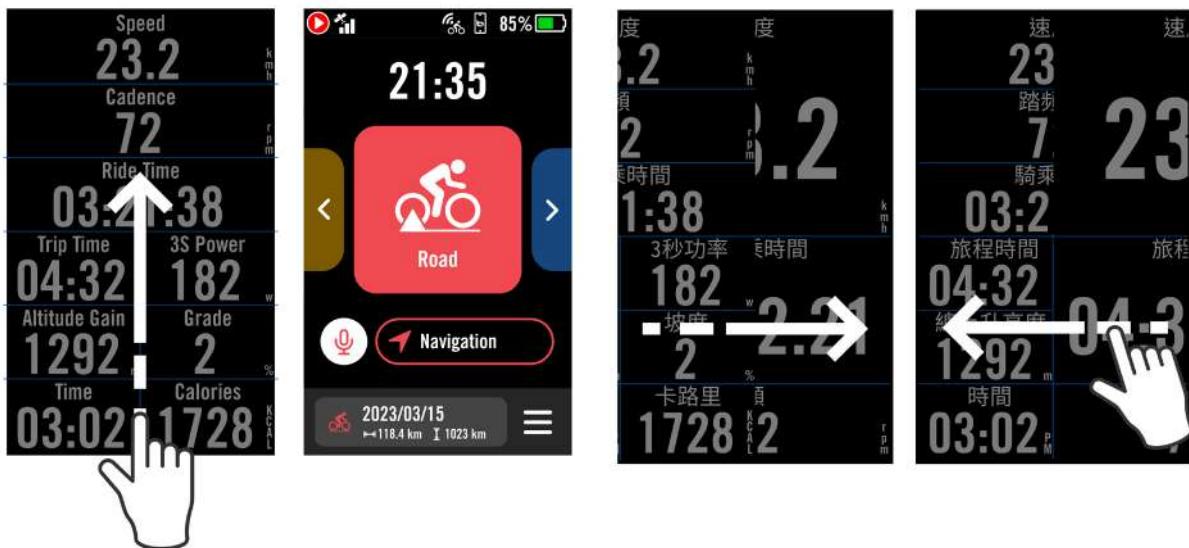
USB ケーブル



バイクマウント



タッチスクリーン



画面の一番下から上にスワイプすると、どの画面からでもホーム画面に戻ります。

左または右にスワイプしてデータページを切り替えます。



画面をタップするとクイックステータスページが開きます。

データグリッドを長押しすると色が変わります。もう一度タップして表示したいデータを選択します。

GUI (グラフィックユーザーインター フェース) ディスプレイ



外側リング

平均値

内側リング

速度センサーまたはケイデンスセンサーを使用しているときの現在値。

心拍センサーまたはパワーセンサーを使用しているときの現在値。
色は、設定に基づくゾーンごとに変わります。

接続されたセンサーの棒グラフ

速度センサーまたはケイデンスセンサーを使用しているときの現在値。

心拍数モニターまたはパワーメーターを使用しているときの現在値。
色は、設定に基づくゾーンごとに変わります。

Di2/E シフトのグラフィック表示

カセットスプロケットのギア歯数

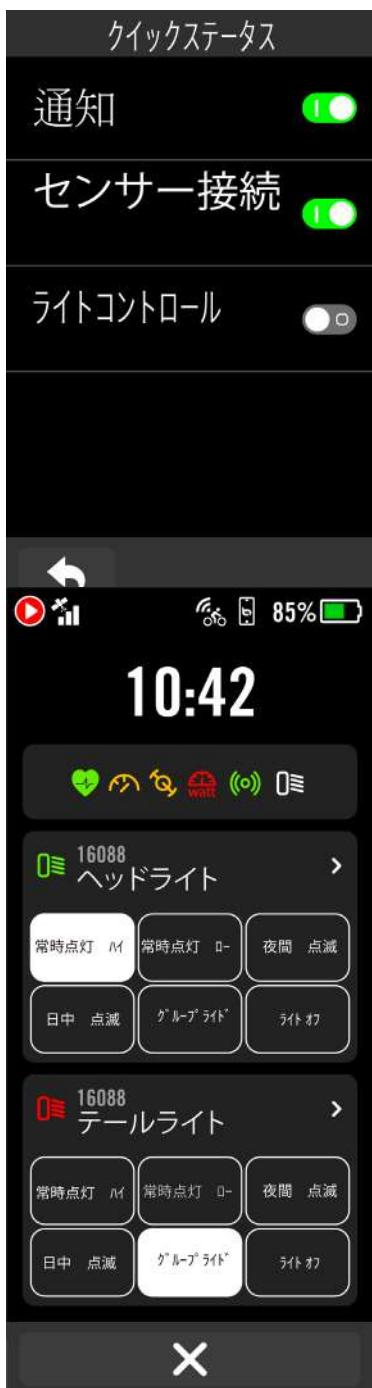
フロントチェーンリングのギア歯数。

注意：

- 心拍数ゾーンとパワーゾーンの設定の詳細については、[45 ページ](#)をご覧ください。
- メーターページでデータグリッドを編集する方法については、[5 ページ](#)をご覧ください。データをグラフィックモードで表示する場合は、グリッドカテゴリーで「グラフ」を選択します。
- データグリッド設定の詳細については、[35 ページ](#)をご覧ください。8B、9B、10、11、および12を含む一部のページオプションでは、グラフィックを表示できません。

クイックステータスマニュー

メーター画面でタップすると、「クイックステータスマニュー」メニューが開きます。スマートフォンへの着信や受信の通知と、接続されたセンサーの状態を確認し、ライトモードを調整することもできます。



1. メーター画面をシングルタップして、クイックステータスマニューを開きます。
2. デバイスの記録中は、記録アイコンが点滅します。
3. 各グリッドで異なるデータを選択して、クイックステータスマニューをカスタマイズできます。メニュー (≡) > 設定 > クイックステータスマニューをタップします。
4. 通知/センサー接続/ライト設定をオンまたはオフにして、クイックステータスマニューページを開きます

記録の状態

■	記録一時停止
▶	記録中

センサーバッテリーの残量

残量：低
残量：中
残量：高

Bryton Active アプリとの接続状況

	接続済み
	未接続

注意：

- クイックステータスマニューに表示されるのは接続されたセンサーのみです。
- センサーアイコンが白色の場合、センサーがバッテリー稼働時間の情報を提供していないことを意味します。
- クイックステータスマニューの設定を見るには、[38 ページ](#)をご覧ください。

カスタムアラート

カスタムアラートを使用して、ワークアウト時間、持続時間、距離、消費カロリーなど様々な条件に基づき、Rider 750 SE がアラートを通知するよう設定できます。Bryton Active でアラートメッセージを編集できます。



1.メニュー (≡) > 「設定」 > 「アラート」を選択します。

2.リストでアラートを選択します。

アラートの編集

1.アラートのタイプを選択します

2.下へスクロールして必要なアラートを選択します

アラート単位

1.アラート単位を選択します

2.下へスクロールして単位を選択します

アラート時刻

1.アラート時刻を選択します

2.リマインダーが必要な時刻を入力します

頻度

1.頻度を選択します

2.アラートを繰り返すか、一回限りかを選択できます

アラートは条件が満たされると表示されます

ステータスアイコン

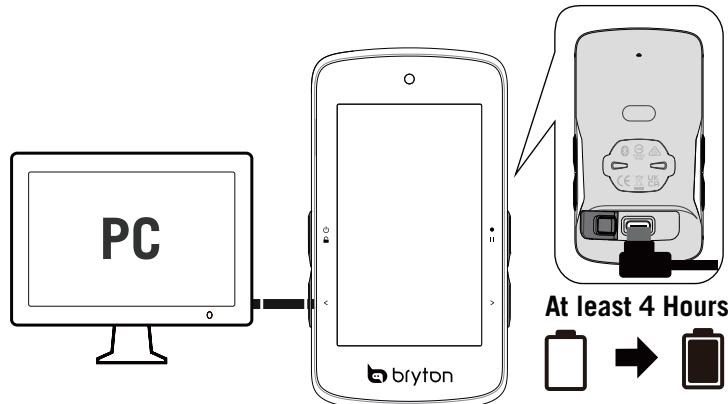
Icon	Description	Icon	Description	Icon	Description
	画面ロック		センサー：オフ		マップをズームイン
	記録中		心拍センサー		マップをズームアウト
	一時停止		速度センサー		マップをドラッグ
	バッテリー残量		ケイデンスセンサー		位置
	GPS オフ		デュアルセンサー		コンパスモード (画面上が北)
	GPS 信号無し		パワーメーター		方向モード (ルート方向が上)
	GPS 信号：弱		シマノ Di2		目的地
	GPS 信号：強		電動変速システム		記録終了
	GPS データ保存済み		バイクレーダー		距離
	メニュー		スマートトレーナー		登坂高度
	ライブトラック		Eバイク (シマノ)		登坂区間
	アプリ未接続		Eバイク (LEV)		クライムチャレンジ
	アプリ接続		ライト		リバース
	スマート通知		音声検索		ID入力
	ロード		削除		接続
	屋内		ワークアウト調整		新規追加
	MTB		トレーナーパッシブモード		情報
	グラベル		ナビ		保存フォルダ
	シクロクロス		場所を設定		履歴
	お気に入り		開始点まで案内する		ルート
	ルート開始点		経由地		

注意： GPS 信号でこれが表示されると、より速く GPS 信号を取得できるようにデバイスが GPS エフェメリスデータを保持していることを意味します。データは1~2週間保持され、更新する必要があります。

充電する

Rider 750 SE のバッテリーを最低でも 4 時間以上充電します。完全に充電されたら、デバイスのプラグを抜きます。

- ・ バッテリー残量がごくわずかになったときには、バッテリーアイコン  が点滅します。適切に充電されるまで、デバイスを接続してください。
- ・ バッテリーを充電するのに適した温度は 0°C ~ 40°C です。この温度範囲を超えて充電すると、充電は終了し、デバイスはバッテリーから電力を放電します。



ステップ2：電源を入れる

⌃ を長押しすると、デバイスの電源が入ります。

ステップ3：初期設定

Rider 750 SE に初めて電源を入れるときは、以下の手順に従って、設定を完了してください。

1. 表示言語を選択します。
2. 測定に使用する単位を選択します。
3. Bryton Active アプリをダウンロードして、Rider 750 SE をスマートフォンとペアリングします。
4. 画面に表示されるチュートリアルをお読みください。

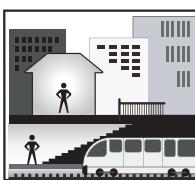
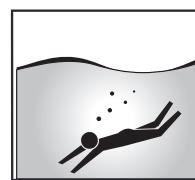
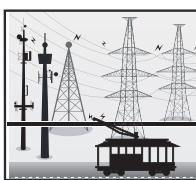


ステップ4：GPS信号の受信

Rider 750 SE は、電源が入ると自動的にGPS信号を検索します。初めて使用する場合、信号を受信するまでに数分かかる場合があります。

GPS信号を受信すると GPS 信号アイコン ( ) が表示されます。

- GPS信号が受信できない場合、  アイコンが画面に表示されます。
- GPS 機能が無効である場合、  アイコンが画面に表示されます。
- GPS の受信に影響する恐れがあるため、遮る物がある環境は避けてください。

				
トンネル	部屋、ビル、または地下鉄の中	水中	高压線またはテレビ塔	工事現場および交通渋滞

ステップ5：Rider750SEを使って自転車に乗る

GPS信号を受信したら、バイク1、バイク2、またはバイク3を選択してメーター画面を開き、データを表示しながらライドが楽しめます。



- サイクリングモード（データは記録されません）：サイクリングモードでは、自転車の走行と同期して、自動的に測定を開始/停止します。
- 記録モード：
 - 記録モードでは、●II を押すと記録を開始し、●II をもう一度押すと一時停止します。
 - 「保存する」または「削除」を選択してライドを終了します。
 - 左矢印をタップすると、メーター画面に戻ります。次に、右矢印をタップすると、前画面に戻ります。
 - 右矢印をタップするか、●II を押して、記録を続行します。
 - Rider 750 SE は走行を中断しても記録を続行します。休憩中はコンピューターをオフにしてバッテリーを節約し、記録の再開時にオンにできます。

ステップ 6: 記録の共有

Bryton Active アプリにルートを自動的に同期する

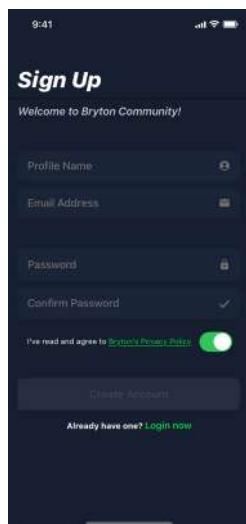
サイクリング後は、ルートを手動でアップロードする必要はありません。Bryton Active アプリは、GPS デバイスとペアリングした後、ルートを自動的に同期します。

BLE 経由で同期する

a. 下の QR コードをスキャンして Bryton Active アプリをダウンロードするか、Google Play/App Store に移動して Bryton Active アプリを検索してください。次に、ログインするか、アカウントを作成してください。



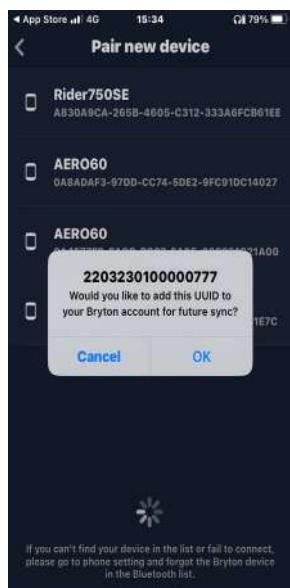
<http://download.brytonsport.com/inst.html>



b-1. 「設定」 > 「マイデバイス」 > 「デバイスマネージャー」 > 「+」 > 「Rider 750 SE」 に進み、GPS デバイスを追加してください。



b-2. アプリ上に表示される UUID がデバイスと同じであることを確認してください。「OK」を選択して、このデバイスの追加を確認してください。UUID が一致しない場合は、「キャンセル」を選択して、再試行してください。



c. 正常に追加されました! 「アクティビティの自動同期」をオンにします。Bryton Active アプリに新しいルートが自動的にアップロードされるようになりました。



注意：Bryton Active アプリは Brytonactive.com と同期します。既に brytonactive.com アカウントをお持ちの場合は、同じアカウントを使用して Bryton Active アプリにログインしてください（またその逆も可能です）。

Rider 750 SE を PC に接続する

- a. Bryton の純正 USB ケーブルを使用して、Rider 750 SE を PC に接続します。
- b. フォルダーが自動的に表示されるか、コンピューターが「Bryton」ディスクを探します。

ルートを Brytonsport.com で共有する

1. Brytonactive.com のサインアップ

- a. <https://active.brytonsport.com> に進みます。
- b. 新しいアカウントを登録します。

2. PC への接続

Rider 750 SE をオンにし、USB ケーブルを使用してコンピューターに接続します。

3. 記録の共有

- a. 右上の「+」をクリックします。
- b. ここに FIT、BDX、GPX ファイルをドロップするか、「ファイルを選択」をクリックして、ルートをアップロードします。
- c. アップロードしたルートを確認するには、「アクティビティ」をクリックします。

ルートを Strava.com で共有する

1. Strava.com にサインアップ/ログインします

- a. <https://www.strava.com> に進みます
- b. 新しいアカウントを登録するか、現在の Strava アカウントでログインします。

2. PC への接続

Rider 750 SE をオンにし、USB ケーブルを使用してコンピューターに接続します。

3. 記録の共有

- a. Strava のページの右上にある「+」をクリックして、次に「ファイル」をクリックします。
- b. 「ファイルを選択」をクリックし、Bryton デバイスから FIT ファイルを選択します。
- c. アクティビティについての情報を入力し、「保存&表示」をクリックします。

ファームウェア更新

Bryton 更新ツール

Bryton 更新ツールは、GPS データ、ファームウェアを更新し、Bryton テストをダウンロードするためのツールです。

1. <http://www.brytonsport.com/#/supportResult?tag=BrytonTool> に進み、Bryton 更新ツールをダウンロードします。

2. 画面に表示される指示に従って、Bryton 更新ツールをインストールします。

GPS データを更新する

GPS データは、古くなっているなければ、信号補足を速めることができます。1 ~ 2 週間ごとに GPS データを更新することが強く推奨されます。

ファームウェアの更新

Bryton は、新しい機能を追加したり、バグを修正したりするために、新しいファームウェアバージョンを不定期にリリースします。最新バージョンが利用可能になったら、ファームウェアを更新することが強く推奨されます。通常、ファームウェアをダウンロードしてインストールするにはしばらく時間がかかります。更新中は USB ケーブルを取り外さないでください。

Active アプリを使用して更新

Bryton 純正 USB ケーブルを使用して、Bluetooth 経由でファームウェアを更新することもできます。

iOS スマートフォンの場合

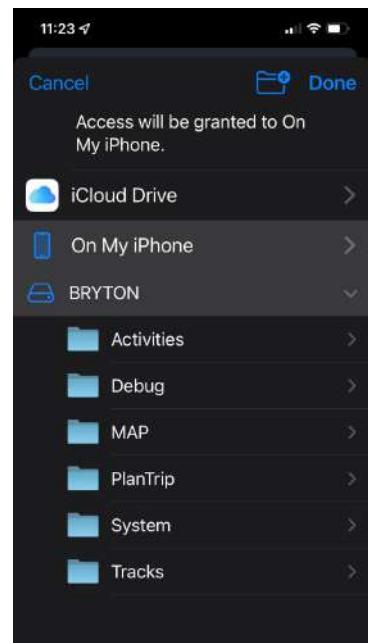
a. Rider 750 SE を Bluetooth でスマートフォンへ接続します。



b. 更新メッセージが自動的にポップアップ表示されます。「更新」を選択して更新を開始します。または、「ファームウェア更新」を選択して更新を開始します。



c. Bryton 純正ケーブルまたは Bluetooth のどちらでファームウェアを更新するか選択します。Bryton 純正ケーブルの場合、[USB-C - USB アダプター](#)が必要です。スマートフォンを必ずデバイスへ接続してください。ルートフォルダーで「**BRYTON**」を選択して、新しいファームウェアをデバイスへダウンロードするアクセス権限を Bryton Active アプリへ与えてください。



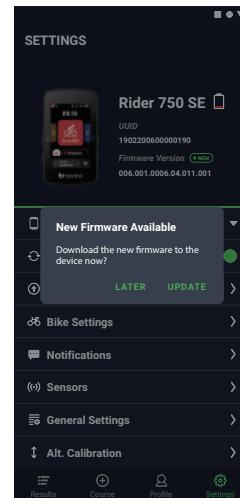
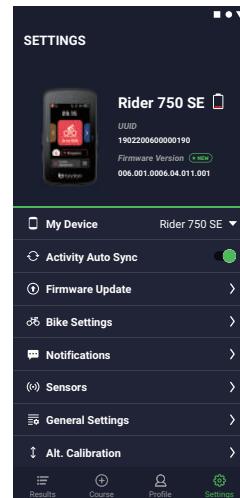
注意： Bryton 純正ケーブルの場合、Lightning - USB アダプターが必要です。

Android スマートフォンの場合

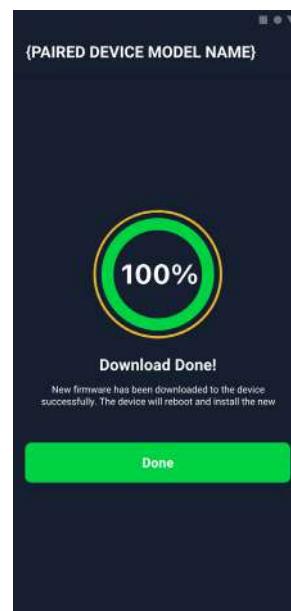
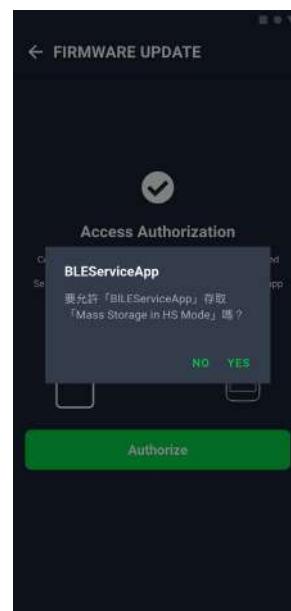
a. Rider 750 SE を Bluetooth でスマートフォンへ接続します。



b. 更新メッセージが自動的にポップアップ表示されます。「更新」を選択して更新を開始します。または、「ファームウェア更新」を選択して更新を開始します。



c. Bryton 純正ケーブルまたは Bluetooth のどちらでファームウェアを更新するか選択します。ケーブルを使用する場合は、スマートフォンのストレージへアクセスする権限をアプリに与えてください。Bryton 純正ケーブルの場合、USB-C - USB アダプターが必要です。



コース

ルート

ルートの作成

Rider 750 SE は、3通りのルート作成方法を提供します: 1.Bryton Active アプリを使用してルートを計画します。2.サードパーティープラットフォームからルートをインポートします。3.Strava、Komoot、RideWithGPSからルートを自動的に同期します。

Bryton Active アプリを経由してルートを計画する



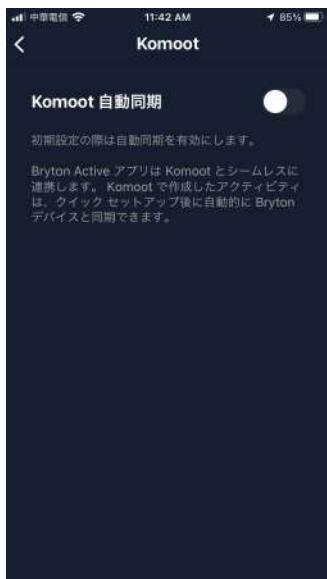
- 1.Bryton Active アプリで、「コース」 > 「マイルート」 > 「+」 > 「ルートの計画」を選択して、マップの上をタップするか、左側の検索バーに住所を入力して、開始点と目的地を設定します。
- 2.アイコン をタップして、「マイルート」に計画したルートをダウンロードします。
- 3.「マイルート」に移動して、ルートを選択してください。右上隅の「...」をクリックして、ルートを Bryton デバイスにダウンロードします。
- 4.デバイスのメインメニューで、「ナビゲーション」 > 「ルート」をクリックし、ルートを検索し、▶をタップして、ルート追従を開始します。

サードパーティープラットフォームからルートをインポートする



- 1.サードパーティープラットフォームから、gpx ファイルのルートをダウンロードします。
- 2.「Active で開く」(iOS 用)または、「Bryton Active アプリでファイルを開く(Android 用)」を選択します。
- 3.Bryton Active アプリで、「コース」 > 「マイルート」を選択します。
- 4.アプリにインポートされたルートが表示されます。
- 5.右上のアイコン を選択して、デバイスにルートをダウンロードします。
- 6.デバイスのメインメニューで、「ナビゲーション」 > 「ルート」に移動し、ルートを検索し、▶をタップして、ルート追従を開始します。

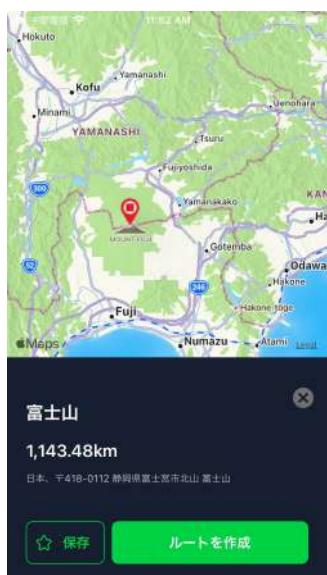
Strava、Komoot、RideWithGPS からルートを自動的に同期する



1. 「プロファイル」 > 「サードパーティアカウントのリンク」タブで、STRAVA / Komoot / RideWithGPS の自動同期を有効にします。
2. これらのプラットフォームで、ルートを作成/変更して、公開として保存します。
3. 「コース」 > 「マイルート」へ進み、ダウンロードするルートを選択します。右上隅の「...」をクリックして、ルートを Bryton デバイスにダウンロードします。
4. デバイスのメインメニューで、「ナビゲーション」 > 「ルート」に移動し、ルートを検索し、タップして、ルート追従を開始します。

POI を追加する

POI および Peak 情報を設定すると、ルートモードで次の POI または Peak までの距離を確認し、状況に基づく正しい意思決定を行い、走行中にモチベーションを維持することができます。



1. Bryton Active アプリで、「コース」 > 「マイルート」へ進みます。
2. POI を追加するするルートを選択します。
3. 下で「POI」を押して、「+ POI を追加する」をクリックします。
4. アイコンを選択して POI タイプを選択します。下のバーで指をスライドして、ルート上の任意の場所に POI を配置します。
5. 場所を確認したら「保存」を押して POI に名前を付けます。
6. 右上隅の「...」をクリックして、ルートを Bryton デバイスにダウンロードします。
7. デバイスのメインメニューで、「ナビゲーション」 > 「ルート」の順に移動します。計画したルートを探し、▶を押して、ルート追従を開始します。

注意：

1. デバイスヘルートをダウンロードする前に、デバイスとスマートフォンをペアリングしてください。
2. デバイス上の POI 情報を表示するには、関連する POI データフィールドをデータページに追加してください。完全な情報を表示するには、これらのデータフィールドをより大きなグリッドに配置することもお勧めします。

ルート案内

Rider 750 SE ヘルートをダウンロードしたら、ルート案内がご利用になれます。Rider 750 SE はルートの自動再検索、POI の画面表示、ダウンロード済ライドの反転など、最も快適かつスムーズに走行できるようにする、高度な機能をサポートしています。



1. 「ナビ」>「ルート」を選択し、一覧から計画したルートを検索します。
2. ▶を押して走行を開始します。

復路を作成

Rider 750SE は復路の作成が可能で、開始点と目的地を入れ替えることができ、どちらの方向にもルート案内することができます。



1. 「ナビ」>「ルート」を選択し、一覧から好みのルートを検索します。
2. ページを下へスワイプし、「復路を作成」を押します。
3. ▶を押してナビゲーションを開始します。

開始点またはルートの最寄りの地点へ案内する

ルート案内を開始すると、Rider 750SEはルートの開始点が現在地と異なる場合に、開始点まで案内するか、最短距離でルート上の地点へ案内するかを選択でき、そこから目的地まで案内を続けます。

ルートを選択したら、「スタートまで案内しますか？」と表示されます。「V」をタップして開始点までの案内が表示されます。

「X」をタップすると、現在地から最も近いコース上の地点への案内が表示されます。



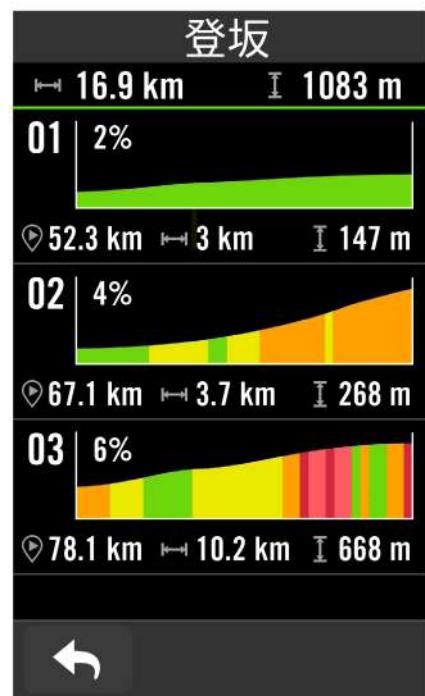
クライムチャレンジ

登坂区間が近づくと、Rider 750 SE は、クライムセクションページに切り替わり、登坂区間の概要情報を表示します。クライムチャレンジ画面は勾配、残りの距離、頂上までの高度差に基づいて色分けされた高度マップを示し、一目で登坂情報を把握できます。

「設定」>「自転車」>「自転車の選択」>「計測」>「オート機能」>「登坂ページ」で、画面の自動切替をオン・オフできます。



保存されたルートで登坂の情報を確認することもできます。「ナビ」>「ルート」>ルートを選択>「登坂」に進んでください。



ワークアウト

ワークアウトの作成

“Rider 750SEは、以下の2つの方法でワークアウトを作成することができます。

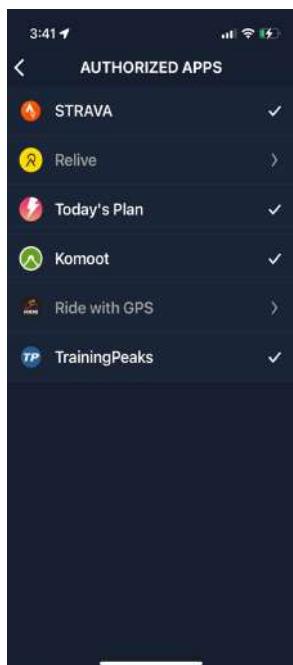
1. BrytonActiveアプリでワークアウトを作成する。
2. 外部のプラットフォームからワークアウトをインポートする。

Bryton Active アプリを経由してワークアウトを作成する



1. Bryton Active アプリで、「コース」 > 「ワークアウトプラン」 > 「マイワークアウト」 > 「ワークアウトを作成」を選択して、インターバルタイプを選び、詳細を入力して、トレーニングワークアウトを作成します。
2. ワークアウトを選択し、右上の「...」をクリックしてワークアウトをデバイスにダウンロードします。

外部プラットフォームからワークアウトをインポート



1. TrainingPeaks の Web サイトでワークアウト計画を作成します。
2. 「コース」タブまたは「マイワークアウト」 > 「+」 > 「サードパーティアカウント」リンクで TrainingPeaks 自動同期を有効にして、BrytonActive アプリとのリンクを確立します。

ワークアウト機能でトレーニングを行う



1. ホーム画面右下のメニュー (≡) をタップして、「トレーニング」を選択します。

2. 「ワークアウト」を選択します。

3. アプリから同期されたワークアウトプランを確認できます。

ワークアウトの削除

1. ワークアウトを削除するには、廃をクリックして、ワークアウトを選択し、廃をもう一度クリックして、削除します。

2. ✓ を選択して、メーター画面に移動して、データを確認できます。

ワークアウトの開始

1. 開始するワークアウトを選択します。

2. ▶ を選択して、ワークアウトの準備をして、●II ボタンを押して、ワークアウトを開始します。

ワークアウトの停止

1. ●II を押してワークアウトを一時停止し、▶ を選択してワークアウトに戻るか、✓ を選択して記録を保存するか、廃をクリックして記録を削除できます。

2. ← を選択して、メーターページに移動して、サイクリングデータを確認します。次に、➡ をタップして、前のページに移動します。

Bryton テスト

Bryton テストには、最大心拍数 (MHR)、LTHR (乳酸閾値心拍数) 、FTP (機能的作業閾値出力) および の測定に役立つテストが含まれています。これらの数値は、総合的な運動能力のベンチマークとなります。また、トレーニングの進捗と強度を判断するうえで役に立ちます。



1. 「メニュー (≡) 」 > 「トレーニング」 > 「ワークアウト」を押します。
2. 「Bryton テスト」をクリ►クします。テストのタイプを選択し、 を押して、テストを開始します。
3. ●|| を押して、ワークアウトを一時停止します。
4. □ または「保存」を選択して、Bryton テストを終了します。
5. ↪ を選択して、ワークアウトページに移動して、データを確認します。次に、 ↪ をタップして、前のページに移動します。
6. ► をタップして、テストを続行します。

グループプライド

グループプライドに参加する

グループプライド機能は Bryton Active アプリと連動させる必要があります。スマートフォンで Rider 750 SE を Bryton Active アプリとペアリングしてください。なお、本機能は対応機種のユーザー間のみで使用できる機能となっております。



グループプライドを作成する

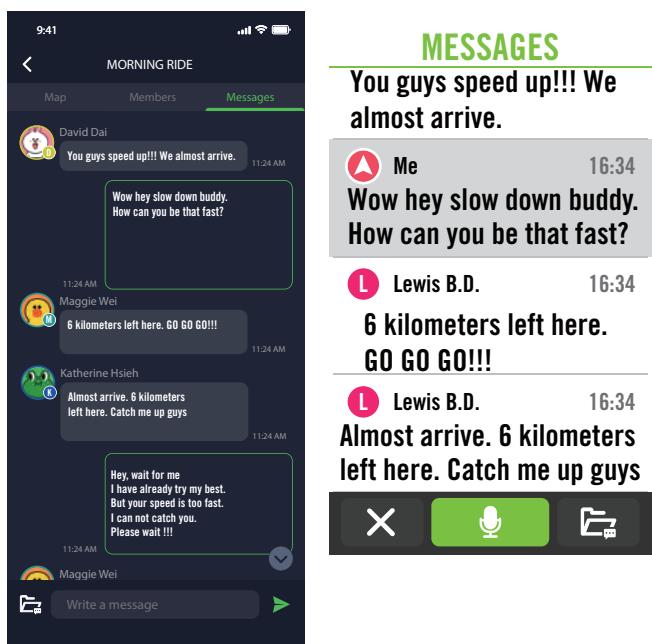
1. Bryton Active アプリで、「コース」を選択します。
2. 「グループプライド」を選択します
3. 「新規作成」をタップします
4. グループプライドの詳細情報をすべて入力します。
5. Bryton Active アプリにルートがすでに存在している必要があります。ルートの作成方法は 16 ページをご覧ください。
6. 「グループを作成」をタップすると、シェアするかどうかを聞かれます。「シェアする」をタップして送信先を選んだら、グループコードが送信されます。
7. Rider 750 SE をオンにして、ホーム画面右下のメニュー(三)から「グループプライド」を選択します。
8. ▶ を押して走行を開始します。

グループコードを入力する

1. コードを空欄へ貼り付けて、「グループプライドに参加」をタップします。
2. Rider 750 SE をオンにして、メニューから「グループプライド」を選択します。
3. ▶ を押して走行を開始します。

グループチャット

Rider 750 SE と Bryton Active アプリでは、グループ内のメンバーへメッセージを送信できます。



MESSAGES

You guys speed up!!! We almost arrive.

Me 16:34
Wow hey slow down buddy.
How can you be that fast?

L Lewis B.D. 16:34
6 kilometers left here.
GO GO GO!!!

L Lewis B.D. 16:34
Almost arrive. 6 kilometers
left here. Catch me up guys

アプリ上

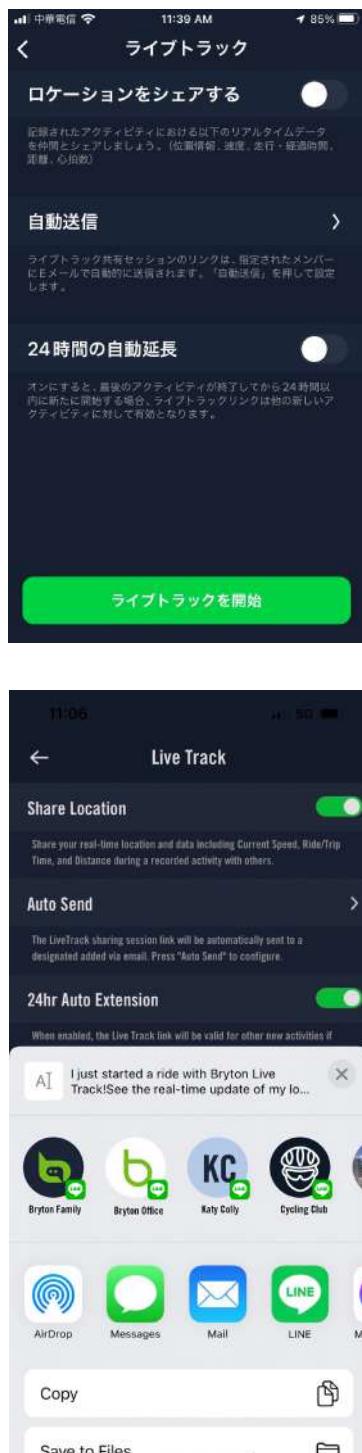
1. 「チャット」をタップして、メッセージを入力するか をクリックしてテンプレートでクイック返信します。
2. 右上の「編集」を選択して、クイック返信を編集できます。

Rider 750 SE 上

1. 「チャット」ページへ切り替えて、 を押してメッセージを入力します。
2. マイクを使用して、音声でメッセージを入力できます。デバイスがメッセージを受信したら、 を押して確認し、メッセージを送信します。または を押してメッセージを再入力します。

ライブトラック

ライブトラック機能を使用して、現在地をリアルタイムで友達や家族と共有できます。この機能を使用する前に、はじめに記録ボタンを押して、Rider750SEの記録を開始してください。続いて、スマートフォンで Bryton Active アプリを開きます。この機能は、デバイスが記録していないと正常に動作しません。



ライブトラックを有効にする

Bryton Active アプリで、「コース」を選択します

「ライブトラックを選択する」

「ロケーションをシェアする」をオンにするか、「ライブトラックを開始」をタップします。

注意: ライブトラックを有効にすると、「クイックスタート」メニューに ライブトラック のアイコンが出現します。

ライブトラックのリンクを自動的に送信する

「自動的に送信する」を選択してトグルし、有効にします

「活動を共有する」列でメールアドレスを記入し、カスタムのメッセージも入力できます

+(+) 記号を押すとメールが送信されます

ライブトラックのリンクを手動で送信する

左下の アイコンを押します

共有する連絡先を選択します

24 時間の自動延長

この機能を有効にすると、ライブトラック のリンクは走行が終了した後も 24 時間有効です。このリンクを使用すれば、活動を共有する人は誰でも、終了、実行中、新規の活動を閲覧できます。

24 時間に内に新たな走行を開始すると、リンクは古い走行ではなく新しい走行を表示します。これは、複数の日程にわたって自転車を走行したり、毎日の通勤を共有する際に便利です。同じリンクを家族や友人が手軽に使用でき、進捗を追跡できます。

ライブトラックを終了する

走行を終了すると、Rider 750 SE は「ライブトラック が終了しました」と通知し、走行が追跡されなくなったことを通知します。Bryton Active アプリで、画面下方の「ライブトラックを終了する」ボタンを押して、ライブトラック を終了することもできます。

スマートトレーナー

トレーナーを設定する



1.1. ホーム画面で、「メニュー (≡)」を選択します。

2. 「トレーニング」>「スマートトレーナー」を検索します。

3. + をタップして、スマートトレーナーを Rider 750 SE に接続します。

情報を編集する

1.スマートトレーナーを Rider 750 SE に接続すると、「スマートトレーナー」ページに切り替わります。

2.「トレーナー設定」に移動して、ホイールサイズ、ギア比、自転車重量を入力して、スマートトレーナープロファイルを設定します。

トレーナーを削除する

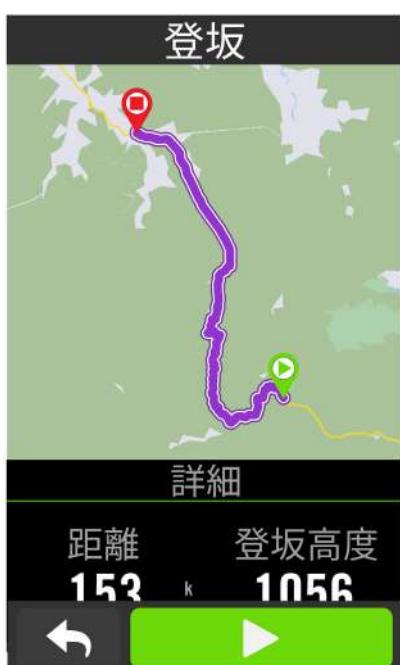
1.「トレーナー設定」に移動します。

2.「削除」をタップして、✓ をクリックして、確認します。

3.3. ペダリングをしばらく停止すると、スマートトレーナーは自動的に切断されます。

バーチャルライド

バーチャルライドでは、Rider 750 SE はほとんどのスマートトレーナーとシームレスに連携し、Bryton Active アプリで作成されたルートをシミュレートできます。



1.「メニュー (≡)」>「トレーニング」を選択します。

2.「スマートトレーナー」>「バーチャルライド」の順に選択します。

3.デバイスにダウンロードしたすべてのルートを表示できます。

ルート上を走行する

1.開始するルートを選択します。

2.▶ をタップして、ライドを開始します。

バーチャルライドを終了する

1.✗ を押して、ライドを停止します。

2.✓ を選択してナビゲーションを終了します。

2.「保存」を選択して、記録を保存します。

3.「削除」を選択して、記録を削除します。

4.✓ を選択して確定します。

ルートを削除する

1.ルートを削除する場合は、✗ をクリックして、削除するルートを選択します。

2.✓ 2.を選択して確定します。

注意：ルートの作成方法を確認するには: 1.Bryton Active アプリを使用してルートを計画します。2.サードパーティープラットフォームからルートをインポートします。3. Strava、Komoot、RideWithGPSからルートを自動的に同期します。17 ページをご覧ください。

スマートワークアウト

ワークアウトは、Bryton Active アプリを使用して作成し、Rider 750 SE に直接ダウンロードできます。ANT+ FE-C のサポートにより、Rider 750 SE はスマートトレーナーと通信して、ワークアウトデータに基づく負荷をシミュレートします。



1. 「メニュー（≡）」 > 「トレーニング」を選択します。

2. 「スマートトレーナー」 > 「スマートワークアウト」を選択します。

3. アプリから同期されたワークアウトを確認できます。

ワークアウトの削除

1. ワークアウトを削除するには、をタップして、ワークアウトを選択し、をもう一度タップして、削除します。

2. ✓を選択して確認します。

ワークアウトの開始

1. 開始するワークアウトを選択します。

2. ▶を選択して、ワークアウトの準備をして、●IIボタンを押して、ワークアウトを開始します。

ワークアウトの停止

1. ●IIを押してワークアウトを一時停止し、▶を選択してワークアウトに戻るか、✓を選択して記録を保存するか、廃をクリックして記録を削除できます。

2. ←を選択して、メーター画面に移動して、データを確認します。次に、➡をタップして、前のページに移動します。

負荷 (坂)



負荷

= 10 +

パワー



パワー

= 225 +

1. 「メニュー (≡) 」 > 「トレーニング」を選択します。

2. 「スマートトレーナー」 > 「設定」 > 「負荷」を選択します。

負荷ワークアウトを開始する

1. 「+ / -」をクリックしてゾーンを選択し、負荷レベルを調整します。

2. ●II をタップして、トレーニングを開始します。

3. バーチャルライドを開始するか、スマートトレーナー接続が切断されると、負荷トレーニングは自動的に停止します。

1. 「メニュー」 > 「トレーニング」を選択します。

2. 「スマートトレーナー」 > 「設定」 > 「目標パワー」を選択します。

3. ● をタップして別のゾーンに切り替えたり、「+/-」をクリックして目標パワーを調整できます。

4. ●II をタップして、トレーニングを開始します。

5. バーチャルライドを開始するか、スマートトレーナーとの接続が切断されると、パワートレーニングは自動的に停止します。

"注意: バーチャルライド、スマートワークアウト、負荷、パワーワークアウトにアクセスする前に、スマートトレーナーを Rider 750SE に接続する必要があります。"

ナビゲーション

“インターネット接続時には、100 を超える言語で、音声を使用して Rider750SEで場所検索できます。音声検索機能により、住所や POI をより高速、直感的、便利に検索できます。ナビゲーション機能を使用するには、インターネットに接続したスマートフォンなどの端末で Bryton Active アプリを起動し、Rider 750SEとペアリングした状態でお使いください。”

音声検索



1. アイコン  をタップして、音声検索を有効にします。
2. アイコン  をシングルタップして、希望の場所のキーワード、名前、住所を話しかけて下さい。
- 3 中央のアイコンをもう一度タップして、音声入力を停止します。
4. デバイスが検索を処理し、最も関連性の高い場所を選択します。

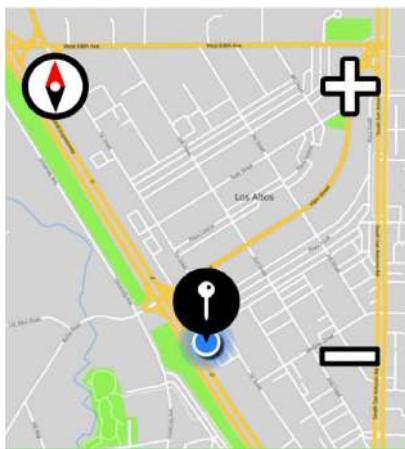
より正確な位置に調整する

1. 場所を選択したら、地図を長押ししながら動かして場所を調整します。

ルートを生成する

1.  をタップして、目的地までのルートを表示します。
2.  をタップして、ナビゲーションを開始します。

ピンを使って目的地を決定する



押すと方位が切り替わります



1. 「ナビ」 > 「ピンを置く」を選択します。

現在位置の検索

1. 位置情報を検索する前に、必ず衛星を検索してください。
2. ◎ をタップして、現在位置を検索します。

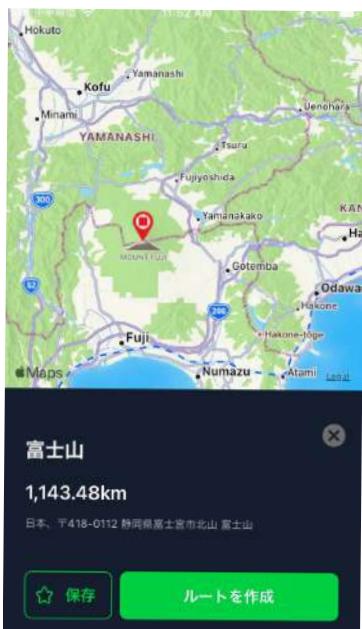
ピンをドロップしてナビゲートする

1. ● を選択し、マップ上の目的の場所を手動で固定します。
2. 空白スペースを長押しすると、地図が移動して正確な位置になります。
3. + / - を使用して、マップサイズを調整します。

ルートを生成する

1. ⑨ を選択して、目的地へのルートが表示されます。
2. ▶ をタップして、ナビゲーションを開始します。

Bryton Active アプリでナビゲートする



- 1 Rider 750 SEを BrytonActive アプリとペアリングし、アプリの「コース」>「ナビ」を選択します。

- 2.検索バーにキーワードまたは住所またはPOIタイプを入力し、 をタップします。

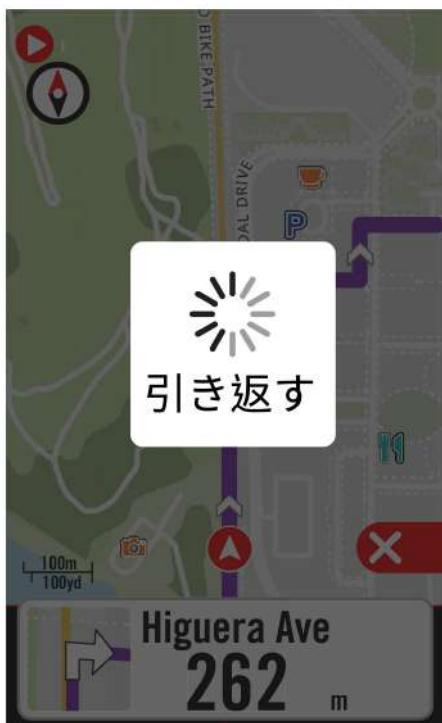
- 3.検索リストから結果を選択します。

- 4.場所を確認し、「ルート作成」をタップしてルートを確認します。

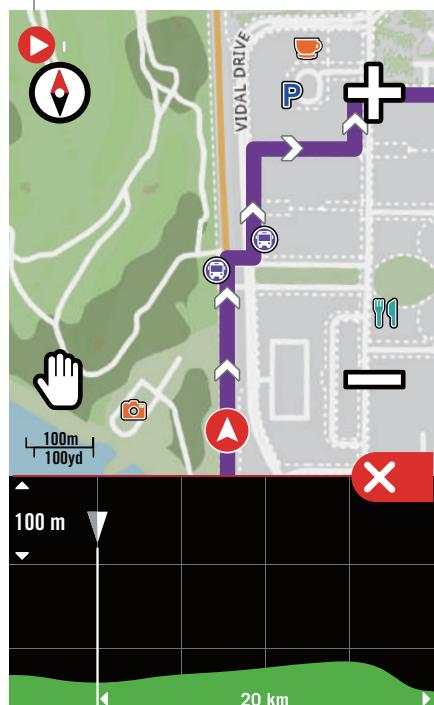
- 5.画面下の「デバイスへダウンロード」をタップして、デバイスへルートをダウンロードし、ナビゲーションを開始します。

引き返す

スタート地点へ戻りたい場合、走行中にボタンを押すだけで Rider 750 SE はこれまで走行したのと同じルートを使用しルートをリトレースし、ターンバイターンナビゲーションを提供してスタート地点に戻れるよう案内します。



1. 走行中に、メーター画面を上へスワイプしてホーム画面に戻ります。「ナビ」>「引き返す」へ進むと、Rider 750 SE が同じルートをたどって、走行を開始した地点まで戻る案内をします。
2. ▶ をタップして、ナビゲーションを開始します。

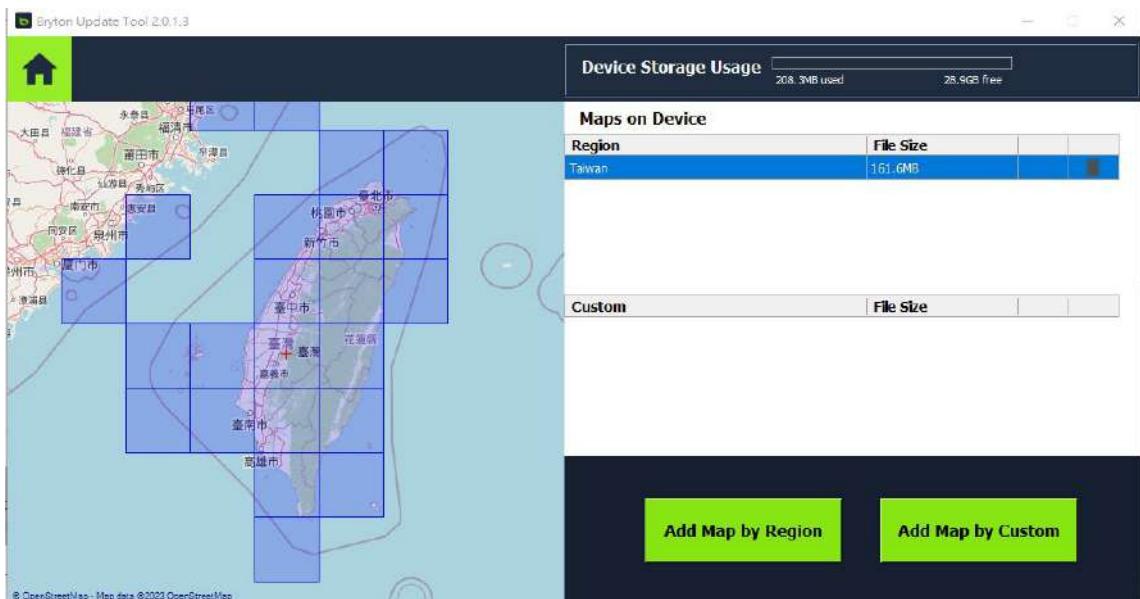


"注意:

1. 走行を記録していない場合は、引き返すルートを作成できません。
2. 引き返す機能を有効にする場合、記録を一時停止するか、一時停止しないことを選択できます。

マップのダウンロード

日本国内正規販売品にはアジアとヨーロッパのマップがプリインストールされています。その他の地域でご使用になる場合は、下記の手順に従ってマップデータをRider 750SEにインストールしてください。



- "1. Bryton の公式 Web サイトから希望するマップの zip ファイルをダウンロードして解凍してください。エラーが発生する可能性があるため、解凍したフォルダー内のファイルの名前を変更したり、ファイル拡張子を変更したりしないでください。
2. Bryton デバイスの純正の USB ケーブルを使用して、デバイスを PC に接続し、「Bryton」ディスクで、「Bryton>MAP」に移動します。
3. 解凍したフォルダーをコピーして、「Bryton>MAP>Update」フォルダーに貼り付けます。
- * マップを追加するのに十分な空き容量がデバイスにない場合は、次の場所に保存されている不要なマップフォルダーを削除してください：「Bryton>MAP>Update」および「Bryton>Map>MapData」。マップファイルを追加した後、正しく動作するために、デバイスが少なくとも 100MB のストレージスペースを保持していることを確認してください。
4. マップファイルがデバイスに正常に追加されたら、「Bryton>MAP>Data」フォルダーに移動し、フォルダ内のすべてのコンテンツとフォルダーを削除します（これらはシステム再起動後に自動生成されます）。
5. USBケーブルを抜いて電源を入れ、デバイスがGPS信号を受信できるようにします。これで、マップが正常に読み込まれ、デバイスに表示されます。"

履歴

Rider 750 SE で記録されたアクティビティを表示したり、記録を削除して、デバイスのストレージ容量を節約したりできます。

記録の表示



1. ホーム画面で、「Last Ride（最近のライド」を選択します。
2. 詳細を表示する記録を選択します。

記録の編集



1. ホームページで、「直前の走行」を選択します。
2. をタップして削除ページに入ります。
3. 記録を選択し、 をタップして記録を削除します。
4. を押して確認します。

設定

「設定」では、自転車の設定、ディスプレイ、センサー、通知、システム、高度、ナビゲーション設定などをカスタマイズできます。このセクションには、ファームウェア情報もあります。また、Bryton Active アプリでほとんどのデバイス設定をカスタマイズできます。

自転車の設定

Rider 750SE は最大 3 つのバイクプロファイルを設定でき、あらゆるタイプのセットアップに合わせてデバイスをこれまで以上に簡単にカスタマイズできます。各プロファイルの設定は、GPS システム、タイヤサイズ、データ項目など、あらゆるタイプのサイクリングに合わせて完全にカスタマイズできます。

バイクの設定



1.「メニュー(≡)」>「設定」>「自転車」を選択します。

バイクの登録

"1. 「Bike1」、「Bike2」、「Bike3」を選択して、設定内容を表示・編集します。
2. バイクの名称は Bryton Active アプリ上で変更・編集が可能です。"



データページ：

- データページをオンにし、ページをタップしてグリッド数を変更します。
- データページにグラフィックを表示するには、表示グリッドの高さが画面の少なくとも 3 分の 1 以上である必要があります。
- > を押して、データフィールドをプレビューします。✓ をタップして確認するか、← をタップして戻ります。

GPS システム

Rider 750SE は、GPS、GLONASS (ロシア)、BDS (中国)、QZSS (日本) および Galileo (欧州) の主要な全ての GNSS (全球測位衛星システム) に対応しています。精度向上のニーズに適応するために、使用地域に応じて最適なモードを選択できます。



1. 「メニュー (≡) 」 > 「設定」 > 「自転車」 を選択します。

2. 「自転車」 > 「GPS システム」 の順に選択します。

GPS システムを有効にする

1.1. GPS システムの状態をオンにします。

• "2. 最適な衛星システムの組み合わせを選択します。

x GPS+QZSS+Galileo+Glonass : アジア太平洋地域で使用する場合を除きこの組み合わせを選択すると最高の精度が得られます。
x GPS+QZSS+Galileo+Beidou : 日本を含むアジア太平洋地域では、この組み合わせが最高の精度を提供します。

x GPS+Galileo+QZSS 上記の2つ組み合わせと比べバッテリー消費が少なく、通常の使用には充分な精度を保ちます。

x 省電力: 精度は低下しますが、バッテリー稼働時間を最大限に延ばします。このモードは必ず屋外で使用してください。"

GPS システムを無効にする

1. GPS 信号が利用できない場合、GPS 情報が必須でない場合 (屋内トレーニングなど) は、GPS をオフにしてバッテリーの電力を節約します。

注意 : GPS信号を受信できない場合、「広い屋外に出てGPS信号を取得してください。」とのメッセージが画面に表示されます。GPSがオンになっていることをチェックしたら、屋外に出て信号を取得してください。

概要

自転車の走行距離計の詳細を表示する場合は、「概要」を選択します。



- 「メニュー (≡) 」 > 「設定」 > 「自転車」を選択します
- いずれかの自転車を選択し、「概要」へ進みます。
"Trip1/Trip2"リセットするまでに記録された積算走行距離。Trip1とTrip2を使用して、ある期間の走行距離を記録し、リセットすることができます。
Trip1およびTrip2は、どちらかひとつをリセットするまで同じ値が表示されます。
たとえば、100km走行後にタイヤを交換する場合は、新しいタイヤを取り付けるときに、Trip1またはTrip2を0にリセットします。ライドの後でタイヤ交換してからの合計走行距離を表示して、次のタイヤ交換までの距離を確定できます。"

ディスプレイ

明るさ、バックライト、メーターページモードなどのディスプレイ設定を変更できます。



- 「メニュー」 > 「設定」を選択します
- 「画面の明るさ」、「バックライト」、「メーターカラーモード」を選択します。

画面の明るさ

1. "明るさを「自動」または「手動」として設定できます。周囲の照明条件に基づいてデバイスの表示を自動的に調整し、さまざまな環境で読み取りやすく表示できます。"

バックライト持続時間

1. 上下にスワイプして好みの時間を選択します。
2. 「スマート」オプションを使用すると、さまざまな環境でバックライトをオンまたはオフに切り替えることができます。
3. 「常時」オプションを使用すると、バックライトを常時点灯できます。"

メーターカラーモード

メーターページで昼間モードまたは夜間モードを選択し背景色を変更できます。

センサーをペアリングする

すべてのセンサーをあらかじめデバイスとペアリングすることをお勧めします。Rider 750SEは既にペアリングしたセンサーのうち、作動中のセンサーをスキャンし、自転車とセンサーの切り替えをこれまで以上に簡単かつ便利にします。



1. 「メニュー」 > 「設定」を選択します。

2. 「センサー」へ進みます。。

新しいセンサーの追加

"1. を選択して、新しいセンサーを追加します。

2. ペアリングするセンサーの種類を選択します。

3. センサーをデバイスとペアリングするには、まずセンサーを自転車に取り付けてクランクとホイールを数回回転させ、心拍センサーは胸に装着し、それぞれのセンサーを起動してください。

4. バイクレーダー、Eバイク、電動変速システムの場合は、ペアリングを開始する前に電源を入れ起動してください。

5. デバイスにセンサーを自動的に検出させるか、を選択してセンサー ID を手動で入力します。

6. ペアリングする検出されたセンサーを選択し、を選択して、保存します。"

センサーペアリングの停止

1. マイセンサーの中から停止するセンサーを選択します。

2. 状態をオフにして、ペアリングを停止します。"

登録済みセンサーをオンにする

1. オンにするセンサーを選択します。

2. 状態をオンにすると、センサーが自動的に接続されます。

3. センサーが接続に失敗した場合、またはこのセンサーに切り替えたい場合は、を選択してデバイスに再接続します。"。

センサーの削除

1. 削除するセンサーを選択します。

2. 「削除」をタップして、をタップして、確定します。

センサーの切り替え

1. 別のペアリングされたセンサーが検出されると、デバイスは別のセンサーに切り替えるかどうかを尋ねます。

2. ✓ をタップしてセンサーを切り替えます。

注意：

- ・ "センサー検出通知で「X」を選択すると、検出されたセンサーはオフになります。再びオンにするには、状態をオンにする必要があります。"
- ・ センサーは、同じタイプであり、両方がすでにリストに追加されている場合にのみ切り替える必要があります。

電動変速システムを使用する

Shimano Di2 や SRAM などの電動変速機とペアリングしたら、センサーページへ移動してさらに設定できます。メーターページでデータグリッドをカスタマイズするには、[5ページ](#)をご覧ください。



1. 「メニュー」 > 「設定」を選択します。
2. 「センサー」を検索します。
3. ペアリングした電動変速システムを選択します。
4. 「詳細」で歯数を入力します。



リモート設定

1. 「リモート設定」へ移動します。
✓ をタップして追加または選択します。
2. 各オプションで をタップしてそれぞれのボタンへさまざまな機能を割り当てます。

BrytonActive アプリでセンサーを管理する



- "1. ホーム画面で、「設定」を選択します。
2. 「センサー」をタップします。

新しいセンサーの追加

1. 「センサーの追加」を選択して、新しいセンサーを追加します。
2. ペアリングするセンサーのタイプを選択します。
3. センサーをデバイスとペアリングするには、まずセンサーを自転車に取り付けてクランクとホイールを数回回転させ、心拍センサーは胸に装着し、それぞれのセンサーを起動してください。
4. バイクレーダー、Eバイク、電動変速システムの場合は、ペアリングを開始する前に電源を入れ起動してください。
5. デバイスにセンサーを自動的に検出させるか、センサー ID を手動で入力します。
6. ペアリングする検出されたセンサーを選択し、「OK」を選択して保存します。"

"センサーの管理

1. 編集するセンサーを選択します。
2. 状態をオンまたはオフにして、センサーをアクティブまたはオフにします。
3. をクリックして名前を編集します。
4. 「削除」を押してセンサーを削除します。"

センサーの切り替え

1. 切り替えるセンサーを選択します。
2. 「接続」を押して、センサーをペアリングします。

注意：センサーは、同じタイプであり、両方がすでにリストに追加されている場合にのみ切り替える必要があります。

リアビューレーダー

- ライダーを開始します
- リアビューレーダーの状態と接近車両の情報が画面に表示されます。
- 後続車両がバイクへ接近するにつれて、車両アイコンの位置が画面の上方へ動きります。画面右横の表示バーは、検知された接近車両の危険レベルに応じて色が変化します。黄色は、車両が接近していることを示し、赤色は車両が高速で接近していることを示します。車両通過後は緑色に変化し、接近車両がない場合は表示バーが画面から消えます。"



	リアビューレーダーが接続されています。
	ライダーの位置
	接近車両
	安全: 後方で危険は検出されていません。
	注意: 後方から車両が接近しています。
	危険: 後方から車両が高速で接近しています。

注意:

- 後方に接近車両がない場合、画面右の表示バーは表示されません。
- リアビューレーダーを Rider 750 SE とペアリングする方法については、38 ページをご覧ください。

E バイクを使用する

Rider 750SEは Shimano StepsとANT+ LEV方式の E バイクシステムに対応しており、互換性のあるバイクに使用すると、アシストモード、アシストレベル、シフトモード、E バイクのバッテリー、航続可能距離、後ギアの位置など、各種 E バイクデータを表示できます。

システム

システムでは、言語や電源、サウンド、時刻、単位の設定が行えます。工場出荷時の設定に戻すリセットも



1. 「メニュー (≡) 」 > 「設定」を選択します。

2. 「システム」へ進みます。

言語

1. 希望の言語を選択します。

操作音

1. 「操作音」を有効または無効にして、キーを押すときの設定を変更します。

通知音

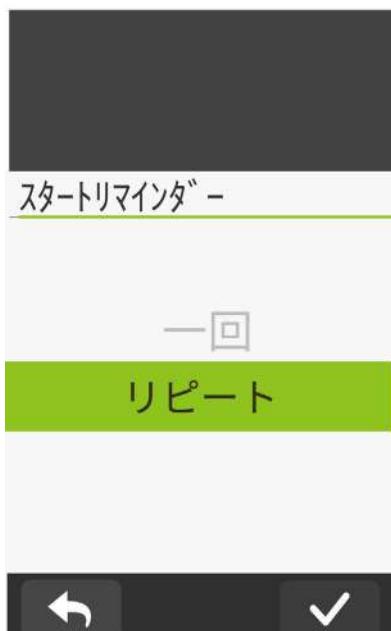
1. 「通知音」を有効または無効にして、アラートと通知の設定を変更します。

時間/単位

1. 「夏時間」、「日付形式」、「時間形式」、「単位」、「温度」を選択して、設定を変更します。

記録設定

記録設定では、データの記録頻度をカスタマイズして、より高い精度/データ保存、およびユーザーの好みに応じてデータを含める方法を指定できます。



1. 「メニュー (≡) 」 > 「設定」を選択します

2. 「記録設定」へ進みます。

記録間隔

1. 希望の記録間隔を設定します。

2. ✓を選択して、確定します。

ODO 設定

1. 「記録データのみ」または「すべて」を選択し、✓を選択して確定します。

スタートリマインダー

デバイスが自転車の動きを検出すると、リマインダーがポップアップ表示され、記録を開始するかどうかを尋ねられます。スタートリマインダーの頻度を設定できます。

1. 「メニュー (≡) 」 > 「設定」を選択します。

2. 「記録設定」 > 「スタートリマインダー」へ進みます。

3. ✓を選択して、確定します。

注意：

- すべては、走行距離計がすべてのライドの積算距離を表示することを意味します。記録済みは、記録されたライドの積算距離のみを表示します。

高度

Rider 750 SE はアプリ経由でインターネットに接続している場合は、自動で高度情報を取得し補正します。手動での高度修正も可能です。



手動での高度補正

- 「メニュー (≡) 」 > 「設定」を選択します。
- 「高度」へ進みます。
- 数字をタップしてテンキーを表示し、高度を入力します。
- ✓ を選択して確定します。

注意：

現在地の高度が調整されると、メーター mode の高度値が変更されます。

仕様情報

デバイスの現在のファームウェアバージョンなどを表示できます。



- 「メニュー」 > 「設定」を選択します。
- 「仕様情報」へ進みます。
- ファームウェア情報や、UUID (製品の識別番号)、製造年月、現在の緯度と経度、位置情報を受信している衛星数がデバイスに表示されます。

個人情報



1.「メニュー(≡)」>「プロフィール」を選択します

2. デバイス名や性別、生年月日などの情報を入力します。

3.「心拍ゾーン」をタップし、MHR(最大心拍数)または LTHR(乳酸閾値心拍数)のいずれかを選択して詳細を編集します。"

心拍ゾーンをカスタマイズする

1.「MHR」を選択します。

- キーボードを使用して MHR を入力します。
- ▼ を押して、各ゾーンの詳細を編集します。
- ✓ を選択して確定します。
- 上下にスクロールして、さらにゾーンを編集します。

2.「LTHR」を選択します。

- キーボードを使用して LTHR を入力します。
- ▼ を押して、各ゾーンの詳細を編集します。
- ✓ を選択して確認します。
- 上下にスクロールして、さらにゾーンを編集します。

パワーゾーンをカスタマイズする

1.「FTP」を選択します。

- キーボードを使用して FTP を入力します。
- ▼ を押して、各ゾーンの詳細を編集します。
- ✓ を選択して確認します。
- 上下にスクロールして、さらにゾーンを編集します。

注意：LTHR または MHR の選択に基づいて、心拍数のグラフィックデータが表示されます。

FTP の選択に基づいて、パワーグラフィカルデータが表示されます。
グラフィックモードの詳細情報は、[6 ページ](#)でご覧ください。

Bryton アプリの詳細設定

Bryton Active アプリに Rider 750 SE をペアリングした後、通知を設定できます。

通知

Bluetooth スマートワイヤレステクノロジーを使用して、互換性のあるスマートフォンと Rider 750 SE をペアリングした後は、Rider 750 SE で電話、SMS、電子メール通知を受信できます。

1. iOS スマートフォンとのペアリング

- a. お使いのスマートフォンの「設定 > Bluetooth」に進み、Bluetooth を有効にします。
- b. Bryton Active アプリに移動し、「設定」 > 「デバイスマネージャー」 > 「+」の順にタップします。
- c. 「+」を押して、デバイスを選択して追加します。
- d. 「ペアリング」をタップして、デバイスとスマートフォンをペアリングします。(iOS スマートフォンのみ)
- e. 「完了」をタップして、ペアリングを完了します。

注意：通知が正常に機能しない場合は、スマートフォンで、「設定 > 通知」に移動し、互換性のあるメッセージおよびメールアプリで通知を許可しているかどうかを確認し、ソーシャルアプリケーション設定に移動してください。

1. Android スマートフォンのペアリング

- a. お使いのスマートフォンの「設定 > Bluetooth」に進み、Bluetooth を有効にします。
- b. Bryton Active アプリに移動し、「設定」 > 「マイデバイス」 > 「デバイスマネージャー」 > 「+」の順にタップします。
- c. 「+」を押して、デバイスを選択して追加します。
- d. 「完了」をタップして、ペアリングを完了します。

2. 通知アクセスを許可する

- a. 「設定 > 通知」をタップします。
- b. 「OK」をタップして、Bryton アプリの通知アクセスを許可する設定に入ります。
- c. 「アクティブ」をタップして「OK」を選択し、Bryton の通知アクセスを許可します。
- d. 通知設定に戻ります。
- e. 各項目をタップして着信通話、テキストメッセージ、電子メールを選択し、有効にします。

付録

仕様

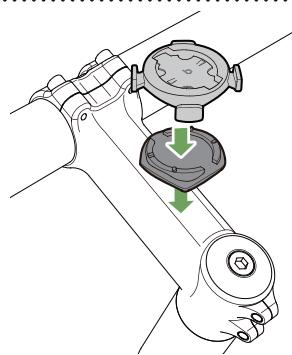
Rider 750 SE

項目	説明
ディスプレイ	2.8 インチ カラー TFT 240x400 静電容量タッチスクリーン
サイズ	52 x 93 x 19.4mm
重量	93 g
動作温度	-10 ° C ~ 50° C
バッテリー充電温度	0° C ~ 40° C
バッテリー	リチウムポリマー充電式バッテリー
バッテリー稼働時間	屋外で 最大40 時間
ANT+™	認定ワイヤレスANT+™ 接続機能搭載。互換製品については、 www.thisisant.com/directory をご覧ください。 
GNSS	高感度 GNSS レシーバーチップ (搭載内蔵式アンテナ)
BLE スマート	内蔵アンテナを備えた Bluetooth スマートワイヤレステクノロジー、 2.4GHz 帯 0 dBm
防水	最大水深1m、最大30分間耐水
高度計	気圧高度計搭載

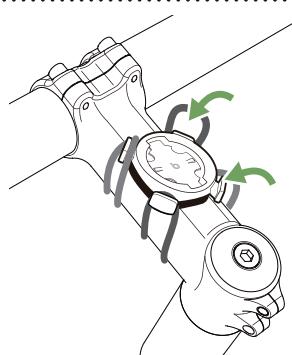
Rider 750 SE の取り付け

アウトフロントマウントを使用して Rider 750 SE を取り付ける

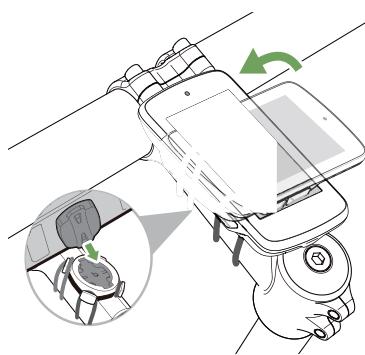
1



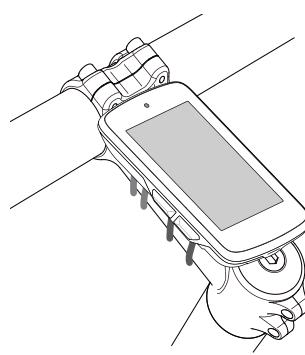
2



3

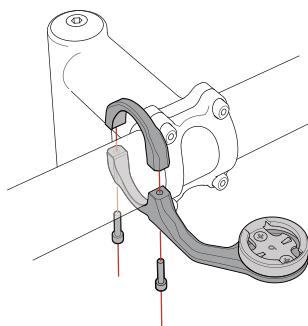


4

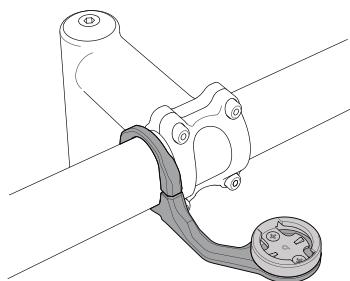


スポーツマウントを使用して Rider 750 SE を取り付ける

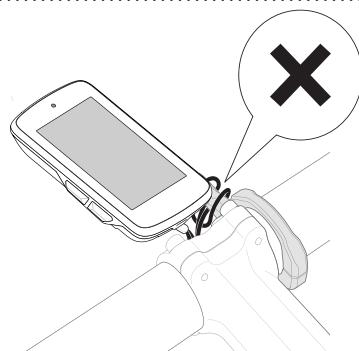
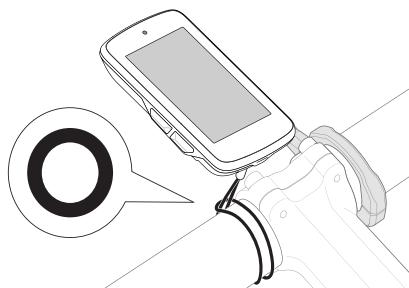
1



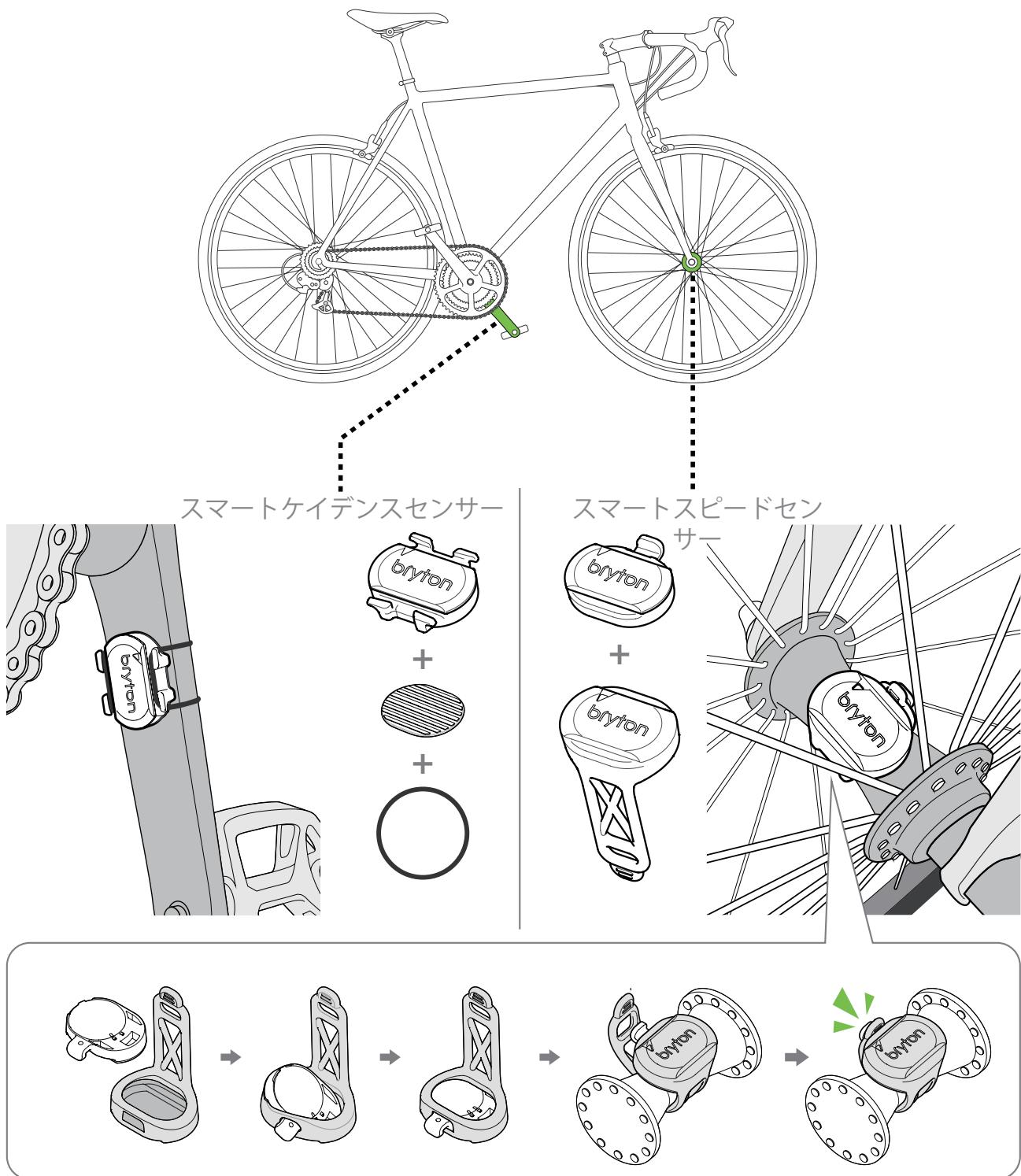
2



Safety Lanyard



スピード/ケイデンス センサーの取り付け



注意：

- センサーが起動すると、LED が 2 回点滅します。ペアリングするためにペダルを回し続けると、LED が点滅し続けます。約 15 回点滅した後、点滅が停止します。10 分間使用しないと、センサーはスリープモードに入り、バッテリーを節約します。センサーが動作中にペアリングを完了してください。

タイヤサイズと周長

タイヤサイズはタイヤの両側にマークされています。

タイヤサイズ	周長 (mm)
12 x 1.75	935
12 x 1.95	940
14 x 1.50	1020
14 x 1.75	1055
16 x 1.50	1185
16 x 1.75	1195
16 x 2.00	1245
16 x 1-1/8	1290
16 x 1-3/8	1300
17 x 1-1/4	1340
18 x 1.50	1340
18 x 1.75	1350
20 x 1.25	1450
20 x 1.35	1460
20 x 1.50	1490
20 x 1.75	1515
20 x 1.95	1565
20 x 1-1/8	1545
20 x 1-3/8	1615
22 x 1-3/8	1770
22 x 1-1/2	1785
24 x 1.75	1890
24 x 2.00	1925
24 x 2.125	1965
24 x 1 (520)	1753
24 x 3/4 チューブラー	1785
24 x 1-1/8	1795
24 x 1-1/4	1905
26 x 1 (559)	1913
26 x 1.25	1950
26 x 1.40	2005
26 x 1.50	2010
26 x 1.75	2023
26 x 1.95	2050
26 x 2.10	2068
26 x 2.125	2070
26 x 2.35	2083

タイヤサイズ	周長 (mm)
26 x 3.00	2170
26 x 1-1/8	1970
26 x 1-3/8	2068
26 x 1-1/2	2100
650C チューブラー 26 x 7/8	1920
650x20C	1938
650x23C	1944
650 x 25C 26 x1 (571)	1952
650x38A	2125
650x38B	2105
27 x 1 (630)	2145
27 x 1-1/8	2155
27 x 1-1/4	2161
27 x 1-3/8	2169
27.5 x 1.50	2079
27.5 x 2.1	2148
27.5 x 2.25	2182
700x18C	2070
700x19C	2080
700x20C	2086
700x23C	2096
700x25C	2105
700x28C	2136
700x30C	2146
700x32C	2155
700C チューブラー	2130
700x35C	2168
700x38C	2180
700x40C	2200
700x42C	2224
700x44C	2235
700x45C	2242
700x47C	2268
29 x 2.1	2288
29 x 2.2	2298
29 x 2.3	2326

データフィールド

カテゴリー	データフィールド	データフィールドの説明
高度	高度	現在位置の海拔からの高さ。
	最大高度	ライダーが現在のアクティビティで達成した、海拔または海面下の現在の場所の最高高度。
	高度ゲイン	現在のアクティビティ中に上昇した合計高度。
	高度ロス	現在のアクティビティ中に降下した合計高度。
	勾配	距離全体での計算された高度。
	登坂距離。	上昇中に移動した合計距離。
	下降距離。	下降中に移動した合計距離。
	VAM	平均上昇速度。
距離	距離	現在のアクティビティでの走行距離。
	ODO	リセットするまでの累積合計距離。
	ルート 1/ルート 2	リセットするまでに記録された累積走行距離。 これは別の2つの走行距離です。ルート1またはルート2を使用して、例えば、ルート1で週単位の合計距離を記録し、ルート2で月単位の合計距離を記録できます。
速度	速度	時間当たりの現在の距離の変化。
	平均速度	現在のアクティビティの平均速度。
	最高速度	現在のアクティビティの最高速度。
ケイデンス	ケイデンス	ライダーがペダルを踏んでいる現在の回転数。
	平均ケイデンス	現在のアクティビティの平均ケイデンス。
	最大ケイデンス	現在のアクティビティの最大ケイデンス。

カテゴリ	データフィールド	データフィールドの説明
エネルギー	カロリー	合計消費カロリー数。
	キロジュール	現在のアクティビティの累積されたパワー出力 (キロジュール単位)。
現在時刻	現在時刻	現在の GPS 時刻。
	走行時間	現在のアクティビティでの走行時間。
	経過時間	現在のアクティビティに費やした合計時間。
	日の出時刻	GPS 位置情報に基づく日の出時刻。
	日没時刻	GPS 位置情報に基づく日没時刻。
心拍数	心拍数	1 分あたりの心拍数。デバイスに接続されペアリングされた互換性のある HR センサーが必要です。
	平均心拍数	現在のアクティビティの平均心拍数。
	最大心拍数	現在のアクティビティの最大心拍数。
	MHR %	現在の心拍数を最大心拍数で除算します。MHR は、1 分間の心臓の最大心拍数を意味します。(MHR は Max HR とは異なります。ユーザープロファイルで MHR を設定する必要があります)
	LTHR%	現在の心拍数を乳酸しきい値心拍数で除算します。LTHR は血中の乳酸濃度が指數関数的に上昇する、激しい運動中の平均心拍数を意味します。(ユーザープロファイルで LTHR を設定する必要があります)
	心拍ゾーン	心拍数の現在の範囲 (ゾーン 1 からゾーン 7)。
	MHR ゾーン	最大心拍数パーセンテージ心拍数の現在の範囲 (ゾーン 1 からゾーン 75)。
	LTHR ゾーン	乳酸しきい値心拍数 パーセンテージ心拍数の現在の範囲 (ゾーン 1 からゾーン 7)。

カテゴリ	データフィールド	データフィールドの説明
パワー	現在のパワー	パワー (ワット単位)。
	平均パワー	現在のアクティビティの平均パワー。
	最大パワー	現在のアクティビティの最大パワー。
	3s power	3 秒間の平均パワー
	10s power	10 秒間の平均パワー
	30s power	30 秒間の平均パワー
	NP (標準化パワー)	可変パワー出力の代わりにエルゴメーターなど、パワーが完全に一定であった場合に、同じ生理学的「コスト」に対して維持できたパワーの推定値。
	w/kg	パワー対体重比
	TSS (トレーニングストレススコア)	トレーニングストレススコアは、IF などの強度とサイクリング時間の両方を考慮して計算されます。サイクリングによって身体にかかるストレスを測定する方法。
	IF (強度係数)	強度係数は、NP (標準化パワー) と FTP (機能しきい値パワー) の比率です。全体的なフィットネスに関連して、サイクリング乗車がどれだけハードまたは困難であったかの指標。
	FTP ゾーン	機能しきい値のパワーパーセンテージの現在の範囲 (ゾーン 1 からゾーン 7)。
	MAP ゾーン	現在の最大有酸素パワーパーセンテージの範囲 (ゾーン 1 からゾーン 7)。
	MAP%	現在のパワーを最大有酸素パワーで除算します。
	FTP%	現在のパワーを機能しきい値パワーで除算します。
	左パワー	左側のパワーメーターの値。
	右パワー	右側のパワーメーターの値。
方向	方向	方向機能は、現在どの方向に向かっているかを通知します。
温度	温度	現在の温度。

カテゴリ	データフィールド	データフィールドの説明
ペダル分析	CurPB-LR	現在の左右のパワーバランス。
	AvgPB-LR	現在のアクティビティの平均 左/右パワー。
	CurTE-LR	ペダリング効率の現在の左/右パーセンテージ。
	MaxTE-LR	ペダリング効率の最大左/右パーセンテージ。
	AvgTE-LR	ペダリング効率の平均左/右パーセンテージ。
	CurPS-LR	各ペダルストローク全体でペダルに均等に力を加えている度合いの現在の左/右パーセンテージ。
	MaxPS-LR	各ペダルストローク全体でペダルに均等に力を加えている度合いの最大の左/右パーセンテージ。
	AvgPS-LR	各ペダルストローク全体でペダルに均等に力を加えている度合いの平均左/右パーセンテージ。
ワークアウト	目標パワー	ワークアウト計画で目標パワーを設定できます。
	目標ケイデンス	ワークアウト計画で目標ケイデンスを設定できます。
	目標心拍数	ワークアウト計画で目標心拍数を設定できます。
	残りステップ時間	現在のトレーニングの残りの距離です。
	残りワークアウト時間	現在のトレーニングの残りの時間です。
	インターバル数	ワークアウトのインターバル数です。
ルート	POIまでの距離	次の POI (Point of Interest) までの距離
	Peakまでの距離	次の Peak までの距離
	曲がり角情報	曲がり角情報をライダーに知らせます。
	目的地までの距離	目的地までの残りの距離。

カテゴリ	データフィールド	データフィールドの説明
グラフ	SPD リング	現在の速度レートは、動的な色付きのグラフィカルモードで表示されます。
	SPD バー	
	CAD リング	現在のケイデンスレートは、動的な色付きのグラフィカルモードで表示されます。
	CAD バー	
	HR リング	現在の心拍数は、動的な色付きのグラフィカルモードで表示されます。
	HR バー	
	PW リング	現在のパワーレートは、動的な色付きのグラフィカルモードで表示されます。
	PW バー	
	3 秒 PW リング	3 秒間の平均パワーは、動的な色付きのグラフィカルモードで表示されます。
電動自転車	10 秒 PW リング	10 秒間の平均パワーは、動的な色付きのグラフィカルモードで表示されます。
	30 秒 PW リング	30 秒間の平均パワーは、動的な色付きのグラフィカルモードで表示されます。
	電動自転車 バッテリー	接続された電動自転車のバッテリーステータス。
	移動範囲	ライダーが電動自転車で移動できる可能性のある距離。
	アシストモード	割り当てられたレベルの支援を備えた、電動自転車によって提供されるさまざまなモード。
	アシストレベル	特定のパワーモードで電動自転車が提供する電子支援のレベル。
電動 変速 システム	電動自転車 リアギア	グラフィックで表示される電動自転車のリアディレイラーのギア位置。
	アシストモードと レベル	現在の電動自転車アシストモードと電子アシストのレベル。
	ESS/Di2 バッテリーレベル	ESS/Di2 システムのバッテリー残量
	フロントギア	グラフィックで表示されるフロントディレイラーのギア位置。
	リアギア	グラフィックで表示されるリアディレイラーのギア位置。
	ギア比	フロントギアの現在の歯車とリアギアの現在の歯車の比。
	ギア	フロントとリアの自転車ギアの位置は数字で表示されます。
	ギアコンボ	フロントギアとリアギアの現在のギアの組み合わせ。

注意：掲載されたデータをサポートする E バイクシステムにのみ対応します。

Rider 750 SE の基本的なお手入れ

デバイスをよくお手入れすることで、デバイスが損傷するリスクが減少します。

- ・デバイスを落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- ・デバイスを極端な温度や過度の湿気にさらさないでください。
- ・画面の表面は傷が付きやすくなっています。市販の画面プロテクターを使用することで、画面に傷が付かないように保護することをお勧めします。
- ・柔らかい布に希釈された中性洗剤を湿らせて、デバイスを洗浄して下さい。
- ・デバイスの分解や修理を試みたり、改造したりしないでください。その場合は補償の対象外となります。



RF (電磁波) 被曝に関する情報 (MPE)

本製品は健康保護のために欧州連合 (EU) と国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が定めた、一般市民の電磁場への曝露制限に関する要件を満たしています。この電磁波被曝要件に準拠するため、本製品はユーザーから20cm以上の距離を保って使用する必要があります。

ここに、Bryton Inc. は、無線機器タイプのBryton製品が無線機器指令2014/53/EUに準拠していることを宣言します。EU適合宣言の全文は、次のインターネットアドレスで入手できます。

http://www.brytonsport.com/download/Docs/CeDocs_Rider750SE.pdf



Designed by Bryton Inc.

Copyright© 2023 Bryton Inc. All rights reserved.

3F-1, No.79-1, Zhouzi St., Neihu Dist., Taipei City 114, Taiwan (R.O.C.)

.)